

滋賀県立小児保健医療センター
脳波勉強会

小児てんかん

CASE-BASED LECTURE

WEB

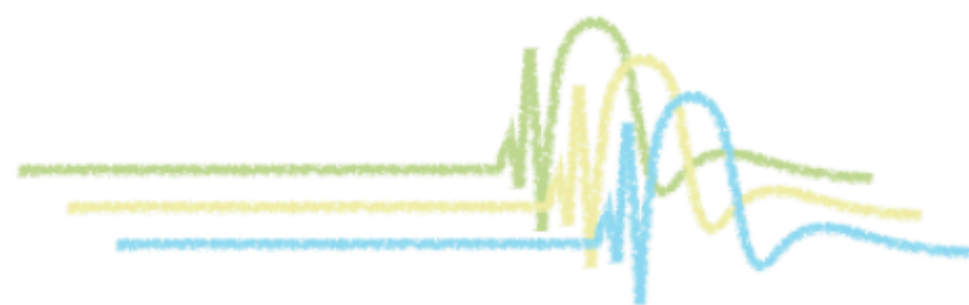
脳波所見を見つけながら、小児期特有のてんかん症候群についても
学ぶことができるWEB勉強会です 気軽に参加ください！

隔週火曜日（奇数週） 18:00から

興味のあるかたは加藤までご連絡ください tkokt4819@gmail.com

小児診療で遭遇すること多いてんかん症候群にしぼって 診療スタイルのもと、脳波を学ぶ勉強会です

てんかん CASE-BASED LECTURE



テキストの内容

Shiga Medical Center for Children

Contents

| | | |
|---------|--|--|
| CASE 1 | 夜間にてんかん発作を繰り返す 8歳6ヶ月の男児 | CD-ROM: ID 9000009 図 1 |
| CASE 2 | 抗てんかん薬治療抵抗性の発作性エピソードを繰り返す 生後3ヶ月の女児 | CASE 2: Interictal EEG and Ictal EEG |
| CASE 3 | てんかん発作の精査加療のため受診した5歳の男児 | CASE 3: Interictal EEG |
| CASE 4 | 有熱時・無熱時にけいれん発作をくりかえす9ヶ月の女児 | CASE 4: Interictal EEG |
| CASE 5 | 難治性の経過をたどる部分てんかんの 11歳 7ヶ月の男児 | 図 1・2 |
| CASE 6 | 初回の全般性強直間代発作の精査目的の12歳 8ヶ月の女児 | CASE 6: Interictal EEG |
| CASE 7 | 短時間の手足を突っ張る発作を繰り返す生後4ヶ月の男児 | CASE 7: Interictal EEG and Ictal EEG |
| CASE 8 | BECTSと考え、CBZ治療開始した 4歳 0ヶ月の女児 | 図 2・3 |
| CASE 9 | 全般発作後の遷延する意識障害の15歳 11ヶ月 男児 | CASE 9: Long-term EEG monitoring CASE 9: Interictal EEG |
| CASE 10 | 頻回にてんかん発作を繰り返す8歳 9ヶ月の男児 | CASE10: Interictal EEG and Ictal EEG |
| CASE 11 | 発作性上肢の異常感覚を頻回に訴える18歳 5ヶ月の女性 | CASE 11: Interictal EEG |
| CASE 12 | 生後 1 日目から頻回なけいれん発が生じた生後5日目の女児 | CASE 12: Interictal EEG |
| CASE 13 | けいれん発作を1日に何回もくりかえして発症した 1 歳の女児 | CASE13: Interictal EEG |
| CASE 14 | 1日に頻回に認められる意識消失発作の 7歳の男児 | CASE14: Interictal EEG |
| CASE 15 | ミオクローニー発作の先行後に全身強直発作を繰り返す16歳の男児 | 図 1・2 |
| CASE 16 | てんかん発作の精査加療を目的に受診した8歳の男児 | CASE16: Interictal EEG |
| CASE 17 | 全身発作を繰り返す18歳の男性 | CASE17: Interictal EEG |
| CASE 18 | 夜間の繰り返す嘔吐と意識レベル変容の持続で受診した7歳の男児 | CASE18: Interictal EEG |
| CASE 19 | 點頭てんかに類似した発作で発症した3歳の男児 | CASE19: Interictal EEG |
| CASE 20 | BECTS治療中に学業低下など認知機能低下がみられた12歳の女児 | 図 1・CASE20: Interictal EEG |
| CASE 21 | 反応不良な状態が遷延する11歳 6 ヶ月の男児 | 図 1・2 |
| CASE 22 | 発作的に異常眼球運動を繰り返す4歳 8ヶ月の男児 | 図 1・2 |
| CASE 23 | BECTSの治療中に発作コントロール不良となった8歳7ヶ月男児 | 図 1 |
| CASE 24 | 生後6ヶ月から始まった急に笑い出す発作性エピソードを繰り返す 3歳男児 | なし |

CASE 1

夜間のでんかん発作を繰り返す
8歳6ヶ月の男児

症例：8歳6ヶ月 男児
家族歴：特記すべきことなし
既往歴：特記すべきことなし FSなし
発達歴：正常発達 普通小学2年生

現病歴

8歳3ヶ月時に自動車で移動中、睡眠1時間以内に四肢、体幹を強直させる発作が1分間認められた（流涎あり、意識障害あり）。近医受診し、血液検査、頭部MRI検査施行されるが、明らかな異常所見なかったため、外来で経過観察されていた。

8歳7ヶ月時に、自動車で移動中に再び発作が出現した。発作は左顔面のピクツキとその後の左上下肢の間代性けいれん発作で発作時間は約5分間であった。発作中に顔色不良、流涎が認められた。本人は「（発作中に）母が呼びかけていることは判っていたが、体は動かなかった」ということを憶えている。

8歳6ヶ月時に精査加療目的にて当科神経外来を受診となった。

入院時身体所見

バイタルサイン正常
呼吸音・心音で異常なく、肝脾腫大なし
神経皮膚症候群を示唆する皮膚所見なく、明らかな外表奇形なし

神経学的所見

- 意識は清明で診察にも協力的。会話内容も年齢相当
- 顔面の左右差なし。瞳孔は左右差なく、対光反射は左右との迅速。眼球運動制限なし 眼振なし。舌は正中位で繊維束攣縮なし

- 四肢・体幹の筋量、筋力・筋緊張は正常
歩行：正常
- 感覚系、協調運動（FNF test）：異常なし
- 腱反射は左右対称で亢進なし、異常腱反射なし

血液検査：明らかな異常所見なし
頭部MRI検査：構造異常なし 異常信号なし

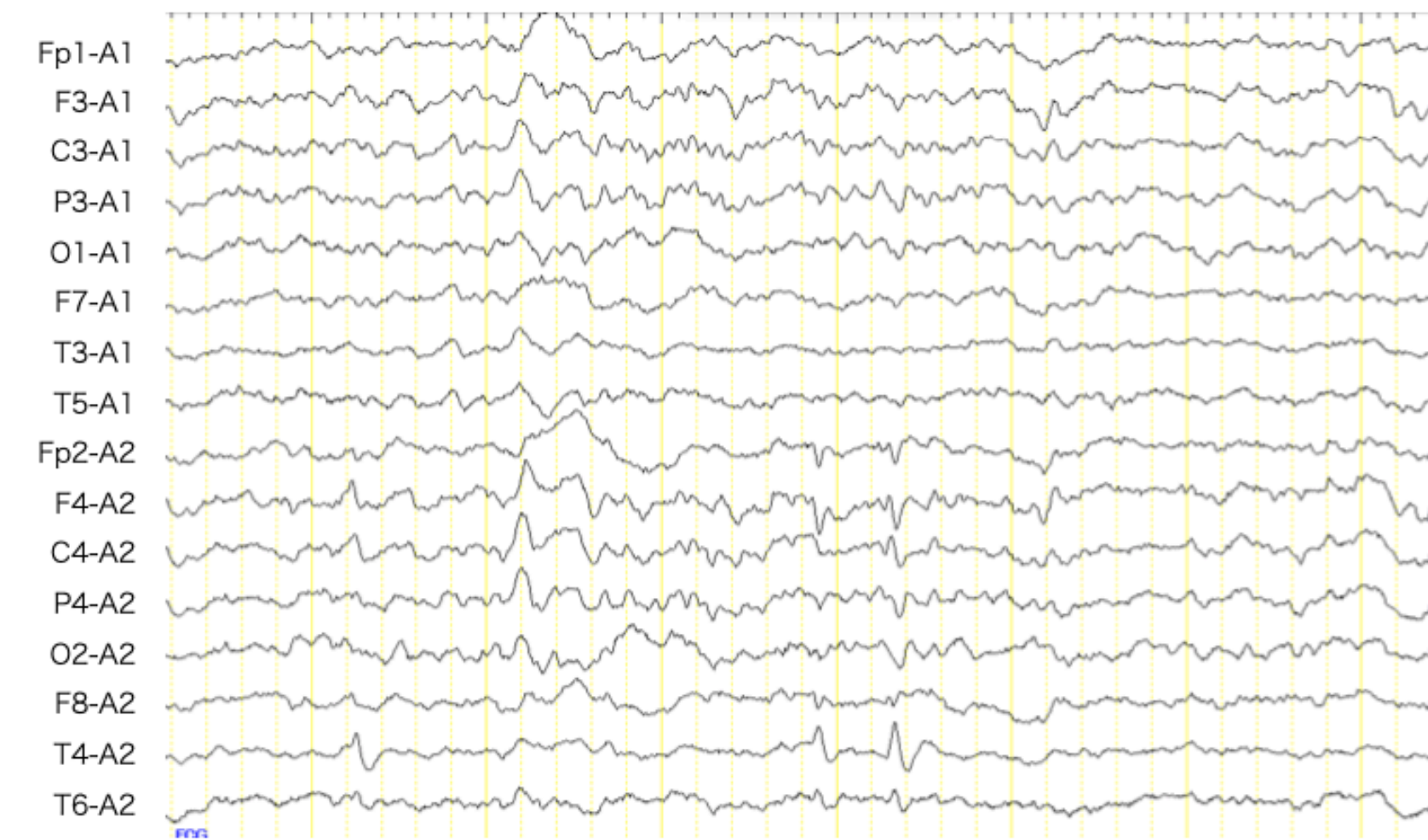
脳波検査

発作間欠期脳波：図1

Question

1. 間欠期脳波検査の所見を述べよ
2. 現病歴の発作症状から本症例の発作型について推測せよ
3. 本症例のてんかん症候群診断は？
4. 本症例のマネジメントについて述べよ

図1：間欠期睡眠脳波



WEBでの開催ですので、病院でも自宅でも自由に
参加可能できます

医局を超えて、多くの若い先生が参加されています

一緒に「てんかん」を「脳波」を勉強しましょう！